

新たな拠点！新たな指導者！

会長 鈴木 龍成

一念発起して、このところ早朝ウオ
ーキングを続けています。道すがらの
野草に目をやったり、畑の野菜の成長
振りに感心したり、時には公園に立ち
寄って吟を口ずさんでみたり、早起
きは三文の得“を稼ごうと目論んでい
ます。
”暑く“そして”熱かった“この夏、
悲喜交々のニュースが流れましたが、

岳精流日本吟院

ちよあ

第 3 5 号

平成 2 1 年 9 月

千代田岳精会弘報

平成二十一年度岳精流指標

今が人生だ

九月の初秋を迎えるとともに新しい歩
みが始まるようにしています。平生の教
場活動の総決算として、三つのグルー
プに別れての温習会がいよいよ開催さ
れることになりました。各グループの準
備もいよいよ大詰めを迎えていると思
います。従来のような会を挙げると統
一温習会が望ましいとは存じますが、
今年の方式も”全員独吟“が余裕をも
ってできるという点からも意義あるも
のと期待されます。新会員のフレッシ
ユな吟詠、先輩会員の磨かれた吟詠、
企画を凝らした楽しい会が催されるの
が楽しみです。
既に承知のとおり、今年は流統本
部のプロジェクトが展開されています。こ
のプロジェクトは、それぞれの会が、吟
幅広く地域に新たな教場（分教場）を
詠くらふなど含む。拠点（分教場）を
広げて、新しい吟友の拡大に努めてい
こうという運動です。私のひの千代田
岳精会では、今年”のびのびのいきい
き”のもと、吟友拡大への取り組みとし
て、5拠点新設を目標として取り組んで
います。その成果は着々と挙がっており
既にスタートしている”鎌倉吟詠くら
ブ”をはじめとして、幾つかの拠点新
設の話がのぼっています。そこでは、
近在の方が吟友として入会され、これ

まで以上に幅広い活動が期待されます。
こうした新しい指導者の”名乗り出す”
必要と思われれます。必要とわかれま
ぶこと”といわれます。お互いに、こ
れまでの吟の世界で磨いてきた技術、こ
知識を”教える”ことから、自身の吟
力を一層向上させることにつなげてい
つたら如何でしょう。家元も”岳精語
録”の中で、人に教えるということは
大変なことだが、また有難いことでも
ある。教えるのには勉強しなくてはな
らないし、努力が要る”と論されてい
ます。

既に多くの教場では、平生の活動の
中で運営上の役割を分担して取組んで
います。その役割をもう一步展開させ
ていくことが必要ではないかと思いま
す。新しい拠点を展開する場合には、
もいろいろな支援策を打ち出して、ま
す。”タスクフォース”として、十四
名の支援担当も強力な力になると思
います。必要に応じて、担当の師範の
生方が拠点に出向き指導の手伝いを
いたします。ご安心下さい。
加の機会を得ました。会員の皆様と一
組織の輪”いきいきプロジェクト”に
き考えさせていたかきました。わが千
代田とともに、かかたの地でのプロ
トも成果につながることをお願いしま
す。



地域型教場鎌ヶ谷教場

企業内同好会型教場からスタートした千代田で教場としては現在唯一の地域密着型鎌ヶ谷の萩裕風教場長に地元での活動についてお聞きしました。鎌ヶ谷市の文化交流に寄与する団体としてカルチャー方式で発足した教場は、居住地域町会主催の「敬老の日」の演芸部門へ団体出演、新年会への参加、老人ホーム慰問の四つの活動を行ない、会員の吟力向上とPR、新会員の増加に取り組んでいます。

□有料老人ホーム市川慰問活動
平成一九年初め、同ホーム職員で、まだ入会一年余りの町井澄泉さんの紹介で四月八日：分室開設三周年：の良き日に第一回が催行されました。他の午後二時から「おやつ」時間前の四〇分が予定時間でした。教場全員で企画短歌と俳句を募集のところに吟詠します。募歌があり、その内三つを吟じました。予定期間を大幅に超過してしまいました。この大変に喜ばれ、中には涙ぐんでいました。人のあちこちのホームとしてプログラムの作成と、配布など協力した。職員の参加など協力した。

七月三〇日（木）選抜師範・準師範研修会が初めて開催され、鈴木会長が挨拶。八月現在、参加者で討議されました。八月現在、参加者で討議された地域への浸透であり、今年目標5拠点作りの意味が共有されたと思ひます。拠点開設や開設後の苦労話、吟友呼び取り組んでいる会員の体験発表など大いに参考になったことと思ひます。

で助かりました。昨年五月十一日、今年五月十七日に十名の参加で実施し、一回が定着して参りました。お別れに二、三の方から「これを、来年聞かせて下さい」と自作の数句を手渡されたのは感激でした。

地に足をつけた日々の活動に、确实な前進が期待されます。

千代田岳精会 選抜師範研修会が開催されました

七月三〇日（木）選抜師範・準師範研修会が初めて開催され、鈴木会長が挨拶。八月現在、参加者で討議されました。八月現在、参加者で討議された地域への浸透であり、今年目標5拠点作りの意味が共有されたと思ひます。拠点開設や開設後の苦労話、吟友呼び取り組んでいる会員の体験発表など大いに参考になったことと思ひます。

見えてくると思ひます。

吟剣詩舞道連盟 吟詠コンクール東京都大会

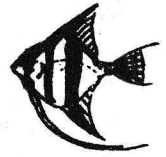
地区予選を勝ち抜いた十二名が、五月実施の東京都大会へ出場、大健闘で次の方々が入賞されました。
幼少部の部
一般二部
一般三部
小林俊晴（東陽町）
菅原龍琴（丸田女）
城戸龍風（神田）
徳本順山（清）
（ハザマ）
（水）

上位入賞の小林俊晴、林龍吾のお二人は七月五日船の科学館で開催の東日本大会へ出場、全国大会こそ成りませんでしたが大健闘でした。

全国吟道大会合吟コンクール

会場の改修工事のため、四月月遅れで十月十八日（日）開催の全国吟道大会の合吟コンクールは、男子で初入賞を目指し次の方々が出場します。岩崎龍慶顧問の指導で六月廿三日より西行「至善」に取り組みしております。

健吟を期待しましょう。
（丸二）前原秀泉、川口栄三
（東陽町）勝村忠三、橋本隆一
（清水）山手英山（鍊水）岩本行山
（ハザマ）中内博泉、鈴木政夫
（新宿）奈良崎應泉
（鎌ヶ谷）柳川 交司



『私の心に残る一詩』その十七
常任顧問 村上 恒風

不尽を詠める歌一首 山部 赤人

天地の 分かれし時ゆ 神さびて
高き貴き駿河なる 富士の高嶺を
天の原 振り銚さけ見れば
渡る日の影もかくろい 照る月の
光も見えず 白雲もい行きはばかり
時じくぞ雪は降りける
語りつぎ言いつぎ行かむ
富士の高嶺は

反歌

田子の浦ゆ 打ち出て見れば
富士の高嶺に 雪は降りつつ

詩吟を始めて間もなくの頃、西伊豆の北端突出部に位置する大瀬崎付近の小高い山上に富士山展望の絶好スポットがあると聞き、何れ訪ねたいと思っていた。
平成六年正月二日、好天を確かめ早朝まだ暗い中独り車を駆って西に向った。明け方大瀬崎着。山道の傍らに車を停め、標示板に従って登ること数百歩、山上の平坦地に達し振り返って大空を見上げた時の感動は今なお記憶に新しい。
たなびく雲の上、朝日に輝く白雪の、霊峰富士を仰いだ時の「神々しさ」に感じた。眼下には碧い駿河の海、白波

立てて進む船を見、遙か彼方に田子の浦の千本松原が望まれた。恰も一幅の画を見ている様な光景に、しばし時を忘れて棒立ちになっていたのを覚えてる。
我に返り、思わず口をついて出てきたのが、その頃まだ習いたての、山部赤人作「不尽を詠める歌」だった。そして些かなりとも万葉人と心を共にすることの出来た喜びを噛み締め、幾度となくこの歌を口ずさみ乍ら山を下った。



昇伝審査を受審して

鎌ヶ谷 町井 澄泉

好転に恵まれた四月廿六日、昇伝審査を受審しました。「平泉懐古」「至善」が課題吟として与えられ、教場で指導頂いたことを思いだしながら、素読をくり返したり、毎日通勤途中の車の中で発声練習を重ねてきました。会場は昨年と同じ東郷記念館でした。が今回は、美しい庭園の緑を眺めるゆとりがあり、心臓の鼓動が聞こえてきました。

す。一つ深呼吸をして、何とか吟じることができました。深浦先生から「全体的によくできました。口の開閉をしっかりと」との講評を頂き、今後の課題として練習に励みたいと思います。吟を始め、四年になりますが、仕事との両立が難しく欠席することが多く、皆様にご迷惑をおかけしてはいますが、趣味の一つに加えて、今後とも長く続けて参りたいと思っております。当日お世話下さった大勢の方々に感謝申し上げます。

吟剣詩舞道連盟
武道館合吟コンクール



昨年が続いて、本部男子が「平泉懐古」大槻磐溪を三本で挑戦することとなり、千代田から次の二〇名の方々が合吟と決まりました。五月十七日から猛特訓が続きます。初出場の方には得難い研鑽の場です。健闘を祈ります。
犬飼堯泉、菟場直一（丸二）徳本順山
松田好泉、望月輝泉（清水）粕川紘山
宮川武郎（神田）前田達山、萩原晴山
松尾洋輔（ハザマ）菅原克風、伊藤浩山
（錬水）大倉明泉、森山俊雄（丸女）
酒井帆山、平山勢泉、岡部植泉、出水
田鶴泉、入住章夫（新宿）植村太山
（鎌ヶ谷）

千代田岳精会人事



○新任副教場町（七月一日付）
清水教場 武藤 孝泉

『新会員紹介』

◆鎌倉吟詠クラブ（丸ノ内第二）
大津 弘子さん（八月入会）

明治安田生命のOGです。五月の明和会支部総会で初めて実現出来た詩吟の披露と、会員募集のちらし配布で詩吟に関心をもたれ、元所長を通して山口教場長へ入会の意向を話され、鎌倉が住まいに近いというのとで入会されました。新拠点発足の効果と喜んでいきます。

◆神楽坂吟詠クラブ（東陽町）
原田 直秀氏（七月入会）

勝村代表の紹介で見学に来訪、続く焼鳥屋での歓迎会で入会を決意しました。地元で印刷会社を経営する、かたわら当地の顔役として東奔西走、席の温まる暇のない多忙な活躍をされています。声はドスの効いた響きがあり磨けば素晴らしい吟声になることと請合いです。目下許渾の「秋思」に挑戦、温習会目指して奮闘中です。

◆ハザマ教場
横山 裕子さん（五月入会）

趣味は詩吟と剣舞です。詩吟は少し習っておりましたが、岳精流の諸先生方、また会員の皆様のお人柄に接し、剣舞の金子先生のお勧めもあり入会致しました。今後努力します。のでご指導宜しくお願い致します。

山根 敏明氏（九月入会）

大学と職場の後輩の松尾氏から千代田岳精会の事を知り、腹の底から好きな詩吟は、老化を防ぎ元気に好きなゴルフを永く楽しむことが出

来るのではと思いい入会しました。と言っても詩吟は「鞭声肅々」を聞き覚えがある程度の、全くゼロからです。ので宜しく願います。

◆丸の内女子教場
関根 千明氏（六月入会）

名前前の通り明るく素直な男子です。趣味も多彩で、今、一番夢中になった趣味的なのは北区長賞を二度もらった腕前の写真だそうです。元職場の森山先輩の熱心な勧めで趣味の一つに山先入会。現在、持病の腰痛で新宿へ通うのも大変な様ですが、一日も早く皆様と一緒に吟じられるよう頑張るとのことです。

◆新宿教場
小椋 紹也氏（五月入会）

酒井教場長と、三菱化学同期入社の小椋紹也（つぎや）さんを紹介させて頂きます。長い間、ジャイカの仕事でインドネシアにお住まいでしたが、二年前に帰国されました。現在は悠々自適の毎日を送っておられるとのこと。インドネシアの仲間との歌の会でもご活躍とか。

川 辺久美子さん（六月入会）

漢詩を学びたく入会しました。声も出ず前途多難、まして皆様の前で吟ずるなど恥ずかしい限りですが、諸先輩方の味の有る吟に接して、限りある人生、吟ずることと心豊かに過ごす。皆様、宜しく願います。長宗我部 友親氏（八月入会）
どこかで聞いた名前？そう。戦国

時代に四国を制覇し、関ヶ原の合戦、大阪の陣で徳川に敗れた、あの長宗我部家の末裔です。友親氏の祖父が一族に伝わる兵法を基に「水心流」という剣詩舞を興して宗家に。その関係で詩吟に興味を持ち、入会した。友親氏は、共同通信の経済部長も務めたジャーナリスト。今は「企画の庭」の代表取締役。ホームペー「そら飛ぶ庭」を見ると連載、随筆など満載。多才、多忙振りが分かる。

◆高橋 暁山氏（ハザマ）

平成廿一年五月廿七日ご逝去されました。享年八六歳、ご冥福をお祈りいたします。

◆二神 和風氏（丸ノ内第一）

平成廿一年八月四日ご逝去されました。享年八二歳、ご冥福をお祈りいたします。

編集後記

集中豪雨と龍巻、異常な長梅雨で日照不足から、農作物の不作が懸念される夏、東海地方は大きく揺れて大地震の予兆ではないと言われるものの、異常現象が続きます。人智の及ばない自然現象とは申せ、自然との調和を考えない人間の欲望が遠因の一つではないと言いつつ切れない気がします。各グループによる温習会の準備は、順調に進んでいます。教場で磨いた吟を精一杯披露する温習会の本来の姿が千代田のステッパアップの土台となると思います。（八田）